

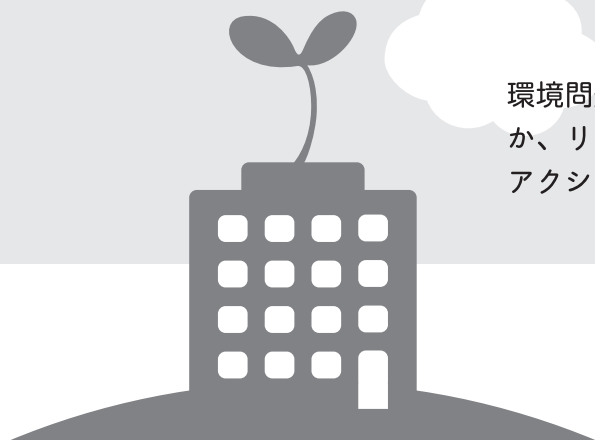
ビジネスチャンス拡大につながる

# 「エコアクション21」への取り組み方

環境問題への取り組みを取引条件に挙げる企業が増えるなか、リソースの限られる中小企業が取り組みたい「エコアクション21」の概要と認証取得の方法を解説します。

一般財団法人 持続性推進機構  
エコアクション21中央事務局長

佐藤 隆史



## 中小企業にも求められる 環境問題への取り組み

### (1) 脱炭素への関心の高まり

2015年の国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において、すべての国が参加する新たな国際枠組み「パリ協定」が採択されるなど、脱炭素化が世界的に大きな動きとなりました。

世界の投資・金融やマーケットが脱炭素に向かうなか、日本の大企業も環境への対応を加速化させています。

さらに、この脱炭素への取り組みを、自社だけでなく取引先である中小企業に求める企業も出てきています。

このような流れは今後も加速していくと見られ、中小企業も環境問題に対して真剣に取り組む必要があるでしょう。

### (2) 中小企業が抱える問題点

とはいえ、中小企業では、環境問題に取り組むために必要な時間や人手、予算に限りがあります。また、実際に取り組もうとしても、自社にノウハウがないため、何から始めてよいかわからないといった問題もあります。

## エコアクション21の あらまし

### (1) 環境省が普及に努める環境マネジメントシステム

「エコアクション21」とは、環境省が策定したガイドラインに基づいた、環境マネジメントシステムの認証・登録制度です。

環境マネジメントシステムとは、環境問題に対する目標を定め、その達成に向けて取り組みを行う仕組みのことです。英語では「Environmental Management System」と呼ばれ、略して「EMS」とも言います。

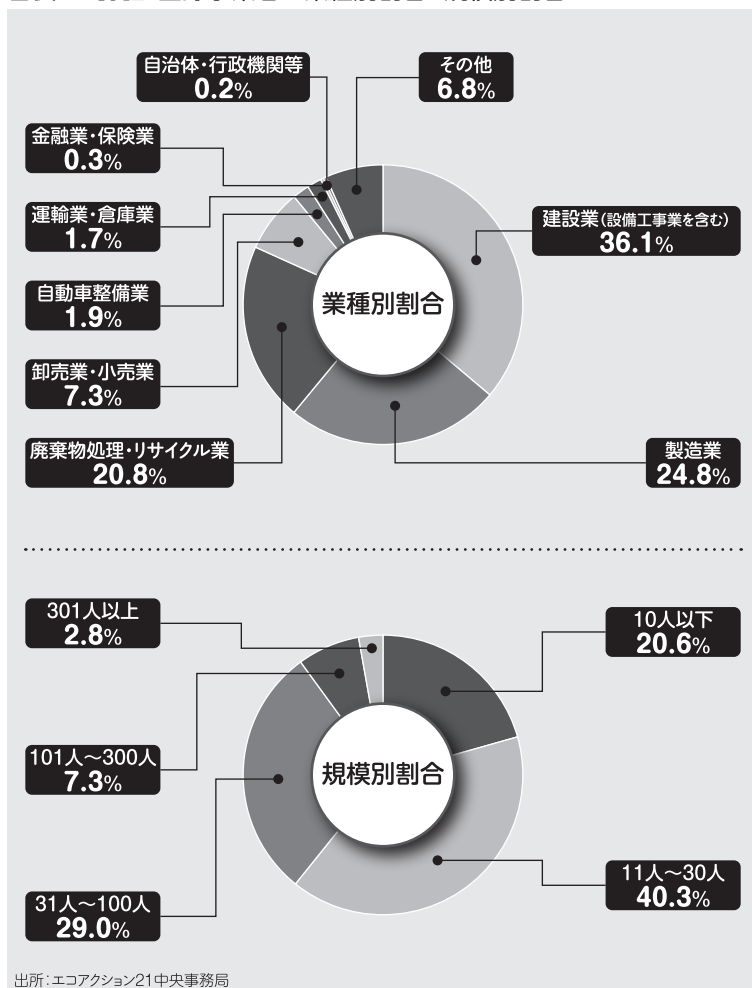
国際的な環境マネジメントシステムとしては、国際標準化機構（ISO）が定めた「ISO14001」があります。

国際的な認証のため、海外と取引のある企業を中心に取得されています。

### (2) 制定された背景

1992年にリオ・デ・ジャネイロで開催された環境と開発に関する国際連合会議（地球サミット）前後から、環境問題を継続的に改善していく国際的取り組みが必要というところで、「持続可能な開

図表1 認証・登録事業者の業種別割合と規模別割合



図表2 エコアクション21の取組みによる効果

- ・環境省のガイドラインに基づくもので、社会的信用を得られる
- ・環境負荷とコストの同時削減を継続的に進められる
- ・全社的に取り組むことで社員のモチベーション・意識が高まる
- ・コンプライアンス体制が確立され、組織のリスクを低減できる
- ・取り組んだ成果の情報を公開することで、情報開示につながる

発」の実現に向けた手法の1つとして、事業者の環境マネジメントへの関心が高まりました。

1996年には、前述のISO14001が制定され、国内では大手企業を中心に広まりました。

同年、環境庁(現環境省)では、中小企業をはじめ幅広い事業者に対して、自主的に「環境への関わりに気づき、目標を持ち、行動することが出来る」方法を提供する目的で「環境活動評価プログ

ラム」を策定しました。

1999年には、このプログラムの内容を一部見直して、「エコアクション21」を策定。さらにエコアクション21に適切に取り組む事業者を評価(認証・登録)することを目的に、「エコアクション21ガイドライン」を2004年に策定し、同年10月に現行の認証・登録制度が始まりました。

### (3) エコアクション21の現状

その後、ガイドラインは200

9年版、2017年版と改訂されています。認証・登録制度開始から20年の節目を迎えた現在、認証・登録事業者は約7500社以上にあります。

認証・登録事業者は建設業、製造業、産業廃棄物処理業の3業種で全体の約8割を占めています。また、認証・登録事業者は約7500社以上です(図表1)。

また、認証・登録事業者の約9

割は従業員数100人以下の規模となっています。

### (4) 取組みによる効果

エコアクション21に取り組むことは、2021年に閣議決定された「地球温暖化対策計画」の2030年度目標達成(温室効果ガスを2013年度比46%削減)および2050年のカーボンニュートラル実現に向けた取組みにもなります。

また、環境への取組みは、環境負荷を低減させるだけでなく、コストの削減や生産性・歩留まりの向上など、経営面においても図表2のような効果が見込めます。

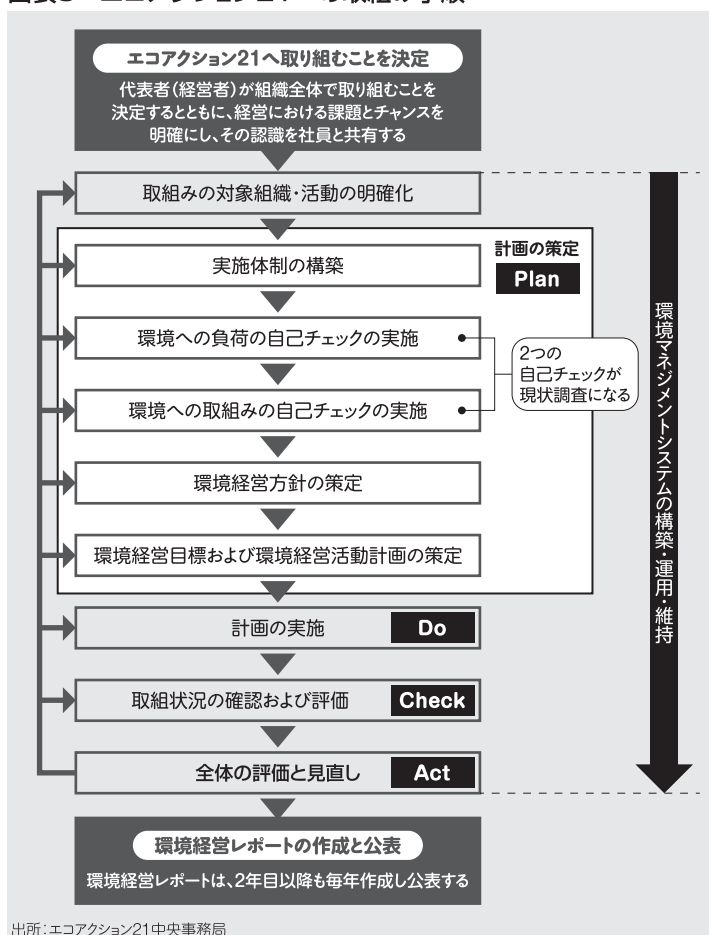
また、エコアクション21は、「環境基本計画」「地球温暖化対策計画」など、政府の重要な環境施策の1つに位置付けられており、企業評価の向上にも役立ちます。

消費者の環境問題に対する関心は年々高まっています。今後気候変動の影響が深刻化すれば、より多くの人が関心を持つようになると考えます。

そのため、環境負荷の少ない製品やサービスを提供するための改善は、中小企業であっても常に意識し続けなければなりません。

エコアクション21の認証取得後

図表3 エコアクション21への取り組み手順



## エコアクション21への取組み方

は、毎年の審査を通じて、審査員から改善に向けたアドバイスを受けられるほか、事務局主催のセミナーやサポート窓口を通じて、最新情報に基づくアフターフォローを受けられます。

### (1) 取組み手順

エコアクション21に取り組む手順は、図表3のとおりです。

まず代表者が、エコアクション21に組織全体で取り組むことを決定し、取組対象となる組織と活動の範囲を明確にします。

エコアクション21に取り組むにあたっては、代表者のリーダーシップが何よりも重要です。

次に、エコアクション21に取り組むための実施体制を決めます。そのうえで、環境に関する現状調査（初期調査）として、エコアクション21ガイドラインに示されている環境への負荷の自己チェック

および環境への取組みの自己チェックを行ない、事業活動に伴う環境負荷、取組状況、自社に適用される環境関連法規等を把握します。そして、その結果を踏まえて、ガイドラインに示される環境経営システムの要求事項に基づき、環境マネジメントシステムを構築します。

環境マネジメントシステムの構築においては、計画の策定（Plan）、計画の実施（Do）、取組状況の確認・評価（Check）および全体の評価・見直し（Act）のPDCAサイクルを基本として、その結果を「環境経営レポート」として作成・公表することになります。

### (2) 認証・登録までの流れ

環境マネジメントシステムを構築した後は、認証・登録のための審査を申し込みます。審査の申込先は地域事務局となりますが、申込みに先がけて3か月以上取り組む（PDCAをまわす）こと、またその取り組みの結果を「環境経営レポート」に取りまとめることが必要となります。

申込後は地域事務局が選任した審査員が、書類審査および現地審査を実施し、その審査結果を判定委員会において審議し、「適合」と判定されると認証・登録となります。

認証・登録期間は2年間で、2年ごとに更新審査、その中間の時期（1年）に中間審査を受審します。登録審査のおおむね1年後に中間審査、その1年後に更新審査と、毎年1回審査を受けることになります（図表4の①）。これは毎年、審査員から指導・助言を受ける機会にもなります。

従業員数100人の製造業、事業所が1か所の事業者の審査費用／認証・登録料の例を図表4の②に示します。なお、審査費用は審査ごと、認証・登録料は更新ごとに発生します。

### (3) ロゴマークの使用

エコアクション21の認証を取得すると、環境省が商標権を保有するロゴマーク（図表5）を使用できるほか、認証・登録証とプレートが交付されます。

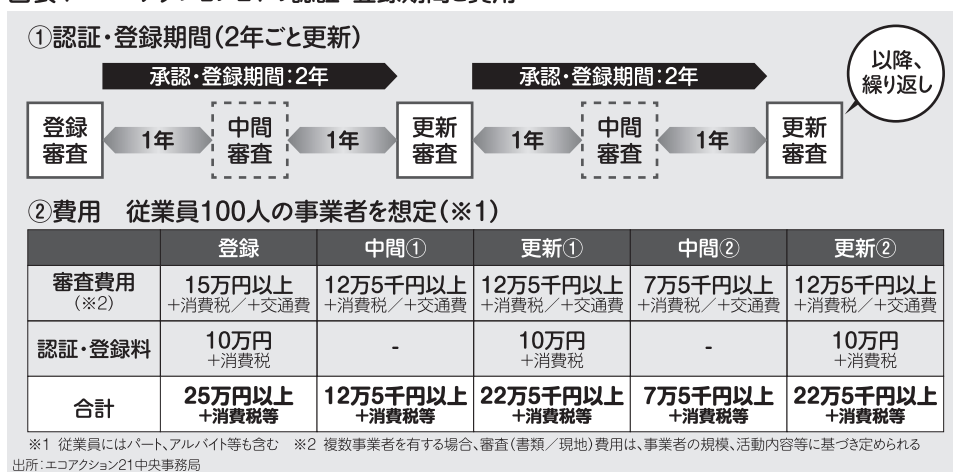
ロゴマークは、自社のホームページや看板、パンフレット、名刺等に印刷・掲示できるので、環境問題を意識する取引先や消費者に

向けて積極的な周知・広報が可能になります。

## エコアクション21の実践例

ここからは、エコアクション21

図表4 エコアクション21の認証・登録期間と費用



図表5 ロゴマーク



(2) 分別の取組み  
医療廃棄物には「疑わしきは感染ゴミ」の不文律があります。しかし「混ぜればゴミ」「分ければ資源」の言葉どおり、資源ゴミへの分

別は、コストを利益に変換してく  
れま  
す。  
そこで、独自にコストと売却益を記した「分別シート」を作成し、分別に迷うゴミの写真をゴミ箱の上に張り付けて正しい分別方法を示すなど、医療廃棄物の適正処理と処理コストの削減を両立させるようにしました。

(3) モチベーション向上の原動力  
このような活動は、現場が当事者意識をもって行なうことが重要になります。

## (1) A病院によるエコアクション21の導入

医療の現場では、廃棄物、とりわけ感染性廃棄物については、適切に処理しなければなりません。  
A病院では、この分別の取組みを確実にこなう方法として、エコアクション21を導入、環境活動として分別の取組みを始めることになりました。

別は、コストを利益に変換してく  
れま  
す。  
そこで、独自にコストと売却益を記した「分別シート」を作成し、分別に迷うゴミの写真をゴミ箱の上に張り付けて正しい分別方法を示すなど、医療廃棄物の適正処理と処理コストの削減を両立させるようにしました。

さらに、古紙の分別による売上げを院内トイレの改修費用に充てる、といった還元動きも見られました。

そこで、A病院では部署ごとにエコ隊員を選出し、現場での環境活動を牽引するようにしました。病院全体の目標だけではなく、それぞれの部署ごとで、それぞれが考え取り組んでいる活動が原動力になりました。

院内に設置した3か月単位で活動状況を報告するシートを部署内でチェックし、コメントバックする仕組みも、環境活動を継続、向上させる力になりました。

実際に認証を取得した企業の経

営者からは、次のような感想が事務局に寄せられています。

- ・ISO14001と比べて、費用面、パフォーマンス(削減効果)、取り組みやすさで格段のメリットがあり、中小企業でもチャレンジしやすい
- ・クライアント企業から環境への配慮や対策を問われるようになり、エコアクション21に取り組み始めたところ、自社への信頼が高まった
- ・エコアクション21の取組みが外部評価を受け、メディアに露出したことで新規顧客の獲得につながった
- ・全社員が環境だけでなく本業でも意識を共有できる仕組みができあがった

エコアクション21の取組みを検討する際は、エコアクション21中央事務局ホームページ(<https://www.ea21.jp/>)に、優良な取組み事例が掲載されているので、参考にするとよいでしょう。

また、エコアクション21の認証取得を検討する際は、最寄りのエコアクション21地域事務局(<https://www.ea21.jp/inquiry/contact/>)に問い合わせをしてみるとよいでしょう。

▲

さとう たかし 環境省にて、気候変動や民間活動支援などに従事。同省にて中小企業の環境マネジメント制度の設立に関わり、現在「エコアクション21中央事務局長」として全国の中小企業の環境経営をサポートする。